

科目名	日本事情Ⅱ Japanese Culture Ⅱ			担当教員	小島隆史		
学年	4	学期	通年	科目番号	09138	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義, 演習	履修条件	必履修		
学習目標	1. 専門科目の学習を通して工学系の専門用語の用法を身につけ、日本語の理解を深める。 2. 日本の文化や常識を理解し、異文化に対する適応能力を身につける。						
進め方	専門科目の演習問題や課題レポートを題材に、日本語による思考、討論、記述をすることで、専門用語を含んだ日本語の使い方を習得する。また、日本の文化や常識を知った上で日本社会の中にある日本的な問題を深く考えて討論し、自国の文化との相違点を理解することにより異文化に溶け込む力を身につける。						
学習内容	学習項目 (時間数)			合格判定水準			
	1. 専門科目の演習とレポートの作成 1 (15) (1) 専門科目の学習と質疑 (2) 課題レポートの作成  (課題レポート1)			・専門科目で用いる専門用語を含んだ日本語の使い方を身につける。			
	2. 日本文化の理解 1 (15) (1) 日本の文化や常識の理解 (2) 関心のあるトピックの調査・検討と討論  (課題レポート2)			・日本の一般的な文化や常識を知る。 ・関心のある日本的な問題を深く考え、自国の文化との相違点を理解できる。			
	3. 専門科目の演習とレポートの作成 2 (15) (1) 専門科目の学習と質疑 (2) 課題レポートの作成  (課題レポート3)			・専門科目で用いる専門用語を含んだ日本語の使い方を身につける。			
	4. 日本文化の理解 2 (15) (1) 日本の文化や常識の理解 (2) 関心のあるトピックの調査・検討と討論  (課題レポート4)			・日本の一般的な文化や常識を知る。 ・関心のある日本的な問題を深く考え、自国の文化との相違点を理解できる。			
評価方法	・課題レポートにより評価する。 ・評価の重みは、それぞれの学習項目に対して等分とする。						
学習・教育目標との関係	機械工学コースの学習・教育目標との対応 全ての学習項目に対して ◎：(D) コミュニケーション、D-1 日本語により、記述、説明、発表あるいは討議できる論理的な思考力やプレゼンテーション能力を身につける。						
関連科目	日本語Ⅰ (3年), 日本語Ⅱ (3年), 日本事情Ⅰ (3年) 日本語Ⅲ (4年), 日本事情Ⅱ (4年)			} → 日本事情Ⅲ (5年)			
教材	専門科目の演習問題や課題レポート 日本文化の理解に必要な教材を教員から適宜提供する。						
備考	受講対象者：留学生 学習内容の順番は学習状況により適宜変更する。						